

にっぽん子育て応援団 2012 年度事業報告

(2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日)

1 重点活動目標の設定

・今般、「子ども・子育て新システム」関連法案が国会に提出され、議論されようとしている時期にあつて、新しい子ども・子育て支援政策の実現へと力強い一歩を踏み出していくために、その理念や概要についての理解の促進と、国民的合意の形成などについて集中的に尽力していくことが求められている。2012 年度はこれまでの路線を踏襲しつつも、年次総会において今年度における重点活動目標を設定、年度活動方針の軸に活動していく。

・「真の社会保障・税一体改革を通じた子ども・子育て支援の充実を」アピールより

「にっぽん子育て応援団の目標」

すべての子どもたちが、家族の愛情に生まれ、
また、子ども同士の積極的な関わり合いの中で、
そして、地域や社会の多くのおとなたちの慈しみの中で、
心豊かに成長できる環境を保障すること」

「目標実現のためのにっぽん子育て応援団のアピール」

1. 思い切った財源投入の実現に向けた大きな政治の決断を
2. 当事者の声が反映されるしくみを
3. 「未来への投資」を組み込んだ「真の」社会保障・税一体改革の実現を

2 啓発活動

・ホームページによる普及啓発活動

公式サイト閲覧総数 330,492 (2013 年 3 月 31 日現在) (2012 年 3 月 31 日現在 221,922)

1) サイトにおける子ども・子育て応援サポーター宣言の個人及び企業・団体、自治体首長への呼びかけと、寄せられた宣言のサイトへのアップ。

	2012 年 3 月 31 日現在 (2011 年 3 月 31 日現在)
個人サポーター宣言	4,332 人 (2,032 人)
企業・団体サポーター	27 社 (27 社)
NPO・市民団体サポーター	197 団体 (173 団体)
自治体首長サポーター登録	35 人 (31 人)

2) 子ども・子育てに関する国の動きと連動した応援団事業開催のつど、その内容を公式サイトにアップ。

・子ども・子育て新システム検討会議ウォッチングブログ

- 1) 子ども・子育て新システム検討会議作業グループ各ワーキングチームの解説付き傍聴レポート
- 2) 政府関係者及び各政党への要望書提出報告記
- 3) 「子ども・子育て新システム」関連法案国会提出の報告

・ウォッチングブログを「子ども・子育て会議 推進応援団」ブログに改定

- 1) 地方版子ども・子育て会議に関する各自治体の動きをウォッチ。
- 2) 団長や運営委員による媒体への子ども・子育て会議に関する寄稿を紹介。
- 3) 「ここから始まる 子ども・子育て会議元年」アピール文への賛同を呼びかけるとともに賛同者からのコメントを掲載。

・facebook およびツイッターの活用

情報発信の一環として facebook 上につぼん子育て応援団のページを立ち上げ、「子ども・子育て会議推進応援団」ブログへのリンクをシェアするなど、新しい情報発信ツールとして活用。公式サイトのふたつのブログにはツイッターと連動させるなど、ツイッターでの情報発信も行った。

・「鯉のぼりに乗って国会まで届けみんなの声」→

「鯉のぼりに乗せて応援しよう！被災地の子どもと子育て家庭」

子ども・子育て家庭の声を鯉のぼりに託し、国会に届けようと2010年度に展開したが、2011年3月11日に発生した東日本大震災を受け、被災地への応援メッセージを添えた鯉のぼりを被災地に届ける企画に変更。2012年度は、国会向けと被災地向けの両方を募集、全国から16団体、20匹の鯉のぼりが届き、結成3周年フォーラム会場に展示、登壇してくださった自民党、民主党、公明党、共産党の各国会議員に直接届けた。プレゼンターは当日保育を利用した参加者＝子育て当事者のみなさん。その様子は公式サイトで報告した。被災地向けの鯉のぼりは、11月27日に仙台で開催した勉強会で、登壇してくださった陸前高田市長の戸羽太氏に寄贈した。

・チラシ作成・配布事業

- 1) 活動内容を記したチラシを増刷、配布。(2,000枚)
- 2) 高野優さんのイラストによる子ども・子育て関連3法案告知チラシを作成、配布。(35,000枚)
- 3) 活動内容を記したチラシを全面改定、配布中。(10,000枚)

2 調査研究活動

- ・12月23日投票の衆議院議員総選挙に向けて各政党への次世代育成政策に関するアンケートを実施。自民・民主・公明・社民・国民新党・みんな・日本維新から回答を得、HPにアップ、周知させた。
- ・自治体におけるNPO・市民団体との協働に関する意識調査（愛のキャンパ中央助成事業）
2010年度、2011年度に引き続き、全国の市町村に向け、現行の子育て支援サービスと地元NPO・市民団体との協働状況についての意識調査を実施。106自治体から回答を得た。開始時期が遅れたため、年度をまたいで作成中。2013年度開催の結成4周年記念フォーラムで配布予定。

3 情報提供・交流活動

- ・結成3周年フォーラム「どうする？ この国の子育て」および勉強会「新システム後を シミュレーション！」の開催

フォーラム開催前に、NPO・市民団体向けに国会審議中の子ども・子育て関連 3 法案に関する勉強会を開催、フォーラム第一部でのリレートーク発言者の選定も行った。

フォーラムは有識者によるパネルディスカッション「わがまちの子ども・子育て支援事業計画を考える」と自民党、民主党、公明党、共産党の国会議員を迎えてのパネルディスカッション「どう進める？各政党に聞くこれからの子ども・子育て支援政策」の2部構成とした。フォーラムの参加者は200名。

・「被災地から新しい子育てシステムを！」勉強会およびフォーラムの開催(WAM助成事業)

子ども・子育て新に関する先進事例を紹介、新しい子育てシステムの構築に向けて具体的なイメージをもってもらおうわがまちでの子ども・子育て支援の実際についてシミュレーションするワークを行う勉強会を開催。

3回目は被災地の現況と今後を探る勉強会ともなった。

まとめとなるフォーラム後半では、子ども・子育て会議の模擬会議を実施、後半は勉強会の報告とパネルディスカッションに森まさ子内閣府特命大臣(少子化対策担当)をお招きし、内閣府政策統括官・山崎史郎さんとともに、基礎自治体トップ代表・箕面市長と流山市長から基礎自治体の取り組みの現況と課題および有識者の意見を直にお聞きいただいた。

<実施スケジュール>

- 1)「子ども・子育ての先進事例に学ぼう！in 三鷹
行政職員とNPOが語る 三鷹のひみつ 横浜のちえ」
7月19日(木)13:30~16:30 三鷹市市民協働センターにて研究会開催
参加者 80名
- 2)「子ども・子育ての先進事例に学ぼう！in 尼崎
自治体トップと語るわがまちの子育て支援 きょうどうの尼崎 走り出した池田」
10月17日(水)13:30~16:30 尼崎総合文化センターにて研究会開催
参加者 95名
- 3)「子ども・子育ての先進事例に学ぼう！in 仙台
被災地から新しい子ども・子育てシステムを！」
11月28日(水)13:30~16:30 仙台市のびすく泉中央にて研究会開催
参加者 70名
- 4)子育て応援フォーラム「ここから始まる 子ども・子育て会議元年」
1月18日(金)女性就業支援センターにてセミナーおよびフォーラム
第一部「子ども・子育て模擬会議」14:00~16:00
第二部「ここから始まる 子ども子育て会議元年」17:00~20:30
参加者 第一部 80名 第二部 120名

・企業・団体サポーター向け交流会の開催

11月1日開催。10社47名が参加。うち3社がサポーター検討企業・団体。
日本アイ・ビー・エム株式会社箱崎本社AVルームをお借りして開催。
「イクメン」をテーマにWLBを考え意見交換する交流会となった。

・メールマガジンの発行

毎月1回発行

・サポーター登録団体用告知ブログおよびウォッチング・ブログの運営

サポーター団体のイベント等を告知するとともに、子ども・子育て新システム関連法案の国会傍聴記や勉強会報告など、国の動きや全国各地の動きを逐次紹介した。

・調査、研究プロジェクトなどを通じて得られた情報などの提供を、ホームページや集会などを通じて行う。
また、各プロジェクトの知見を活かした交流事業、意見交換会、アピール集会等を開催する。

・NPO・市民活動団体の交流促進

公式サイト内に NPO・市民活動団体紹介コーナーを開設、各団体の活動を紹介するとともに、NPO・市民活動団体メーリングリストを立ち上げ、各団体の情報交換の場として提供。

・「わがまちの子ども・子育て会議」ML の立ち上げ

平成 25 年度から始まる子ども・子育て支援新制度に向けた準備の中で、重要なカギとなる地方版子ども・子育て会議の浸透と定着のために、ウォッチングブログを衣替えするとともに ML を立ち上げ、情報と意見の交換の場として、行政職員や NPO 市民活動団体に活用を呼びかけた。

ML には、現在 33 名が参加。

4 政策提言活動

・年に2回（5月・11月または1月）フォーラム等を開催し、具体的な提案を、政府、自治体、関係団体、市民等に広く提言を行う。（WAM助成事業ほか）

○5月27日（日）、大妻女子大学にて結成3周年フォーラム「どうする?この国の子育て」を開催。

子ども・子育て関連3法案をはじめとする税と社会保障の一体改革関連法案に関する国会審議に向け、子育て支援関係者および当事者の声を直に届けるべく、パネルディスカッションに民自公の議員をお招きした。（応援団独自事業）

○結成3周年フォーラム開催時に「真の社会保障・税一体改革を通じた子ども・子育て支援の充実を」アピールを採択するとともに、支援団体などを通じて賛同を募り、賛同者名簿を添えたアピール文などを携え、民自公の議員を中心に衆参議員会館へ陳情に出向いた。

○1月18日子育て応援フォーラム開催時に「ここから始まる 子ども・子育て会議元年アピール」を採択。パネルディスカッションに森まさこ内閣府特命大臣（少子化対策担当）をお招きし、基礎自治体トップ代表・箕面市長と流山市長から基礎自治体の取り組みの現況と課題および有識者の意見を直にお聞きいただいた。

○子育て応援フォーラム開催時に採択された「ここから始まる 子ども・子育て会議元年」アピール文を携え、自民党、民主党、公明党、日本維新の会、みんなの党の議員の元へ陳情に出向くべく、公式サイトやML、facebook を通じて賛同を募り、賛同者のコメントをブログに掲載した。

5 その他の活動

- ・上記事業の推進のために、運営委員会を毎月1回、イベント開催前には2回、事務局会議を毎週1回開催した。

にっぽん子育て応援団 平成24年度会計報告

(H24年4月1日～H25年3月31日)

【収入の部】

科目	予算	決算	一般会計	特別会計	差額
1. 会費収入	1,150,000	790,000	790,000	0	-360,000
2. 賛同金収入	200,000	156,000	156,000	0	(44,000)
3. 民間助成金収入	4,498,000	4,498,000	0	4,498,000	0
4. 販売収入	0	0	0	0	0
5. 寄付金収入	150,000	131,889	131,889	0	-18,111
6. 借入金	0	0	0	0	0
7. 雑収入	10,000	169,145	169,145	0	159,145
当期収入小計 (A)	6,008,000	5,745,034	1,247,034	4,498,000	-262,966
前年度繰越金(B)	760,349	760,349	760,349	0	0
収入合計(A)+(B)	6,768,349	6,505,383	2,007,383	4,498,000	-262,966

【支出の部】

科目	予算	決算	一般会計	特別会計	差額
1. 借料・損料	260,000	364,727	364,727	0	-104,727
2. 人件費支出	600,000	506,945	506,945	0	93,055
3. 謝金	20,000	15,000	15,000	0	5,000
4. 交通費	216,000	126,400	126,400	0	89,600
5. 会議費	20,000	70,227	70,227	0	-50,227
6. 通信運搬費	120,000	95,581	95,581	0	24,419
7. 制作費	0	0	0	0	0
8. 印刷製本費	80,000	116,040	116,040	0	-36,040
9. 消耗品費	50,000	17,513	17,513	0	32,487
10. 備品費	0	0	0	0	0
11. 助成金事業費	4,498,000	4,176,083	49,586	4,126,497	321,917
12. 支払手数料	3,000	1,889	1,889	0	1,111
13. 雑費	10,000	2,200	2,200	0	7,800
14. 委託費	300,000	0	0	0	300,000
15. 予備費	50,000	38,560	38,560	0	11,440
当期支出小計 (C)	6,227,000	5,531,165	1,404,668	3,193,000	695,835
当期収支差額(A)-(C)	(219,000)	213,869	(157,634)	1,305,000	432,869
次期繰越収支差額 (D)	541,349	974,218	602,715	0	432,869

*民間助成金事業のうち愛のキャンパ中央助成については年度をまたいで事業執行途中にあるため、平成25年3月31日現在の現況をもって会計報告書を作成している。そのため、収支差額には愛のキャンパ未使用分金額371503円を含んでいる。